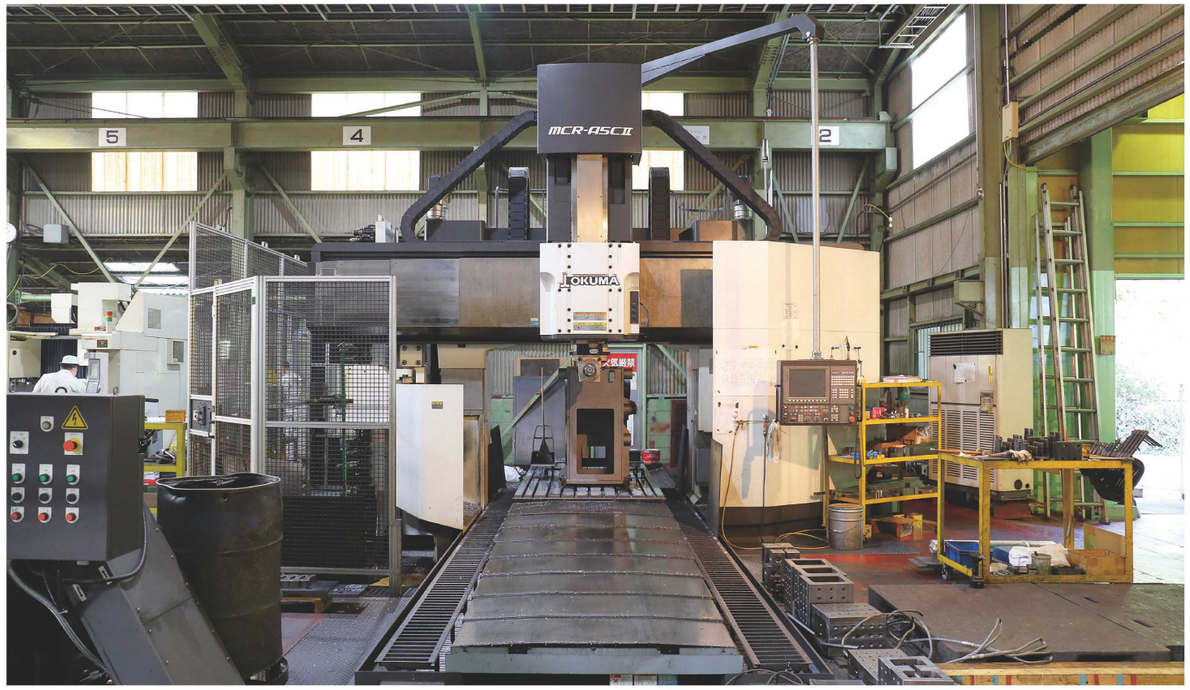
平成26年度

ヒカリ技研株式会社

五面マシニングセンタ導入での製造工程の改善による生産プロセス革新事業



補助事業

トータルエンジニアリングの強みを生かしニーズに対応
新型・五面加工機の導入で強固な生産プロセスへと変革

産業機械や省力化機械の設計にはじまり、製作・組み立て・据え付けまでの一貫した受注「トータルエンジニアリング」で、各工場の設備レイアウトや省力化をお手伝い。人が同じ動作を繰り返すような作業、あるいは人の力では少し重労働と思えるような作業、そして機械による搬送作業・検査作業等の効率をアップさせる方法を提案している。

同社では、トータルエンジニアリングの強みを生かすため、製造部門に五面マシニングセンタ（五面加工機）1台を保有している。導入後の稼働状況が非常に良く、常に1.5カ月程度の受注量を抱え、対応できない受注分については、外注加工に頼っている状況であった。ただ、その外注加工における比率が年々増えており、五面加工機で加工する見積案件も多数発生。納期対応がままならず、受注を断念するケースもあり、売り上げの取り逃がしが大きな問題となっていた。外注依存率は40%以上。この問題を改善するため、同事業により五面加工機の導入を検討し、コストや納期など顧客の求めるニーズに対応しつつ、トータルエンジニアリングにおける生産プロセスの強化を図った。

導入したのは「門型マシニングセンタMCR-A5CII20×30」。金属部品加工において、機械装置のベースとなるフレームや大物ブラケットを加工。大きさは1500mm×3000mm以内で、加工高さは750mm以内のもの。部品を一度固定すれば、立方体の5面が同時に加工でき、部品加工の精度も向上する。同事業を活用して五面加工機を導入することで、生産プロセスを革新するとともに、製造部門の外注依存率を低減させ、自社の加工比率100%を目指した。

成果

自社比率を100%に近づけつつ
生産プロセスの革新で受注拡大

五面加工機を1台導入したことにより、社内加工の受注量が拡大。売り上げの上昇および顧客のニーズに対する即応力を強化する目途が立った。また新機種を導入したことで、同等機種を扱う社員同士の競争力が磨かれ、今まで一人で考えていた加工段取りを、ほかの視点からも見ることができるようになり、より精度の高い、高品質な製品を顧客に提供することができた。自社の加工比率を100%に近づけつつ、顧客の希望する産業機械や省力化機械を、設計・製作から組み立てまで一貫受注。さらに品質も向上し、短納期対応も可能となった。顧客からしてもメリットは大きく、同社の信用力も向上し、営業面から見ても非常に効果が出ることは確実。今後、大手企業が国内生産へと回帰する上で、この生産プロセスの革新は、さらなる受注拡大に繋がる。



今後の展開

PR材料として新規顧客を獲得
コロナの余波には粘り強く対応

五面加工機を2台保有することで、加工の受け入れ状況も拡大。新規顧客の獲得にも良いPR材料となる。新規顧客の獲得は、難しいことではあるが、大型NC旋盤と合わせ、受注量の拡大は可能であると考察。ただ2020年からコロナの影響もあり、材料費の高騰と輸入が一時ストップしたこともあって、材料や部品の不足が発生している。今後、社会情勢を踏まえながら、顧客への納期や価格交渉も検討。現場も含め、対話と調整を行いながら、粘り強く対応したいと考えている。



会社紹介

顧客ニーズに合わせた製品をタイムリーに供給
ISO取得で社会や環境に貢献できる企業を目指します



さまざまな業種の生産設備を、企画から設計・製作、メンテナンスまで、一貫して行うトータルエンジニアリングの体制を確立しています。顧客のニーズに合わせた製品を、タイムリーに供給することを企業目標として日夜邁進。品質・納期・コストはもちろん、顧客の満足度が十分に得られるようなモノづくりを行っています。また品質・環境ISOの取得により、社会や環境に貢献できる企業を目指しています。

ヒカリ技研株式会社

代表者：代表取締役　松本修司
設　立：昭和49年
資本金：1000万円
従業員：29名
業　種：生産用機械器具製造業、その他の生産用機械・同部分品製造業

所在地：和歌山市下三毛507
ＴＥＬ：073-477-2666
ＦＡＸ：073-477-3109
E-MAIL：hikarig@carrot.ocn.ne.jp
ＵＲＬ：http://hikarigiken.co.jp/